

世界遺産登録関連予算等2号補正に

7471万円を補正

24日、一般会計は、世界遺産登録関連予算等7471万円を追加する補正予算が賛成多数で可決されました。

補正の主なものは、消防団員の制服等をそろえる予算2930万5千円、水道料金の改定との関連で、簡易水道線入金3403万円の減額、工業団地内の製造業への水道料金の補給金6406万6千円、市立保育園の施設整備費394万6千円、世界遺産登録に関連する予算などです。特別会計及び水道事業会計では、主に水道料金の改定に伴う補正で、いずれも賛成多数で可決されました。

質問 清衡公遷都行列表決について誰がどの様な形で行うのか伺います。

答弁 10月上旬、豊田の館（江刺区）から平泉遷都したことにちなんで、文化遺産登録に合わせて、活性化を図り意識を高揚させる目的のイベントです。50人から60人ほどの隊列で行列を再現します。実行委員会方式で、関係の方々を

入れて全市的に盛り上げていきます。

質問 遷都のルートは解明されているのですか。この2、3年、伝統のある祭の予算が5%、3%と減額され苦しい運営をされています。その削減額をそのまま加えてしまう金額であり、地震の災害が有る中、このような祭を行うことが良いのか伺います。

答弁 ルートについて確認はできていません。豊田の館から平泉に移ったのは歴史書で確認できています。専門家の指導のもとで行います。7月の世界遺産登録を期待しております。明るいニュースも考え、盛り上げていくことが必要だと考えています。

質問 遷都行列表決は、どういう形で続けるのか伺います。

答弁 できれば世界遺産をふまえながら続けたいと考えています。平泉が文化遺産登録になればお祝いの行事になるし、もう少し時間がかかるということであれば、登録へむけての応援にしたいということです。

質問 史跡巡回バス運行委託料（232万7千円）について、バス料金などの構想について伺います。

答弁 市内にある世界遺産登録候補地（白鳥館遺跡、長者ヶ原遺跡）

の巡回コースとそこから市内に回るコースの2つを考えています。その料金については、200円から500円を考えていますが、もう少し検討が必要です。

世界遺産登録を求める意見書を提出

地震発生後、再開された23日には、議員発議により「平泉の文化遺産」が本年7月の世界遺産委員会において、登録決定がなされるよう国に対して要望する意見書が提出され、可決されました。

そして、会期中ではありましたが、岩手県議会、平泉町議会及び一関市議会とともに、渡辺副議長が26日に文部科学省ほかに意見書を提出し、要望してまいりました。



松浪文部科学副大臣に要望書を提出する渡辺副議長